



校区社協だより

《発行》
鍋島校区社会福祉協議会
会長 山口 貢
《事務局》
鍋島公民館内
〒849-0937 佐賀市鍋島1-1-1
TEL 0952-31-2984

平成28年度 鍋島校区社協総会が開催されました

去る5月20日鍋島校区社協の総会を開催し、平成27年度の事業結果報告、収支決算、平成28年度の事業計画、収支予算並びに役員・理事人事が議決されました。

尚、総会には、ご来賓として、佐賀市及び佐賀市社会福祉協議会、地元県議員のご出席を賜り、温かい励ましの言葉を戴きました。厚く御礼申し上げます。心新たに地域福祉向上に勤めてまいります。

新役員の紹介

このメンバーで頑張っています

役職名	氏名	推薦団体
会長	山口 貢	
副会長	犬尾 貞秋	民生児童委員会
〃	石田 博英	自治会長会
常任理事	三島 安夫	体育協会
〃	吉田 功太郎	長生会
〃	今泉 邦子	なべしま女性の会
〃	光安 吉野	ボランティア鍋島
〃	古賀 正英	青少健、子ども会
〃	小原 晴義	鍋島小・PTA
〃	鍵山 俊明	保護司
〃	古川 實	自治会長会
監事	池田 典司	自治会長会
〃	古川 勝彦	民生児童委員会
庶務会計	高取 昭美	

会長挨拶

鍋島校区社会福祉協議会
会長 山口 貢



姿が見えない？

日頃は、校区社協活動に、ご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私達は近隣の人や地域で助け合い支え合う、互助共助の大切さを学んできましたが、昨今、互助・共助では解決が難しい事態がおこっております。近時、新聞・テレビ等で「介護殺人」という痛ましい事件を、しばしば日にするようになりました。長年連れ添い献身的な介護をしてきた夫が認知症の妻を手にかける。介護離職までして面倒を見てきた息子が母親を手にかける等々、地域から孤立し経済的・肉体的・精神的に追い詰められた悲しい結末であると云えます。

このような痛ましい事件があることに近隣の人からは、もっと早く気が付いてやれば良かったと後悔の言葉が聞かれますが、介護者だった人に共通している事は、最後まで自分が介護をするという自己責任感が強い。行政や福祉機関に助けを求めない。日頃から近所付き合いが無く周囲の人も状況に気が付かない。つまり行政や周囲から介護者の姿が見えないという事です。

今、地域のつながりも増々希薄となり、大家族で支え合った家族の有り方も大きく変わっています。又、市街化によるマンション・アパート等の増加、個人保護法の壁、等ますます地域の姿が見えにくくなっています。

介護殺人は、極端な例としても、孤立死、児童虐待、高齢者虐待、生活困窮者、災害時要援護者、認知症の人など見守るべき人はたくさんいます。

私達は従来に増して、これらの人々が発信する僅かなSOSの発信を捉えるキメ細かな活動が求められる時代になったと考えます。

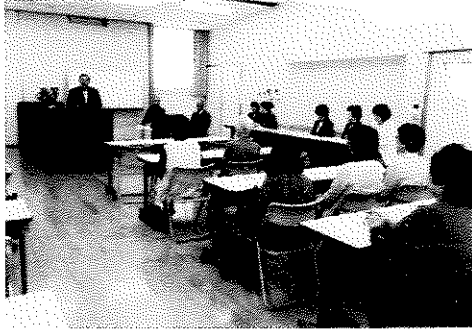


ボランティア鍋島の総会開催

昨年4月30日、ボランティア鍋島と鍋島訪問ボランティアが合併し新しくボランティア鍋島として発足し1年が経過しました。

会員数も50名を超える人世帯となりましたが会員皆さんの地域のためにとの思いの下、お年寄り、障害のある方、子どもたちにと種々な福祉活動を行ってまいりました。

本年4月22日には、第1回総会を開催し、本年度の活動方針、収支予算を決定致しました。



佐大医学部学生ボランティア(SCS)の皆さんが鍋小放課後児童クラブを支援します

佐賀大学医学部学生ボランティア(代表 荒木大夢さん・メンバー21名)が鍋小放課後児童クラブへのボランティア活動を行います。ボランティア活動を行うに当って、佐賀市こども家庭課より、児童クラブの概要、活動上の心構え、留意点等2回にわたるレクチャーを受け6月より活動を始めます。

活動内容は、レクリエーション、講話(健康教育)とし(勉強は教えません)原則週/2回、16:30~18:30の時間帯で、1グループ4~6名が活動します。

佐賀大学の学生は地域にとって貴重な人的資源ですが、子どもたちにとっても良きお兄さんとして、手本となってくれる事と思います。又、学生さんにとっても学生時代から地域と関わる事で将来医師や看護師になった時、良い経験になる事と思います。

寄付の御礼

下記の方より、追善供養としていただきました。校区の福祉活動に役立させていただきます。

〔追善〕

御寄附の方々 ()内は故人名

雪竹 史郎 様 (母 リエ 様)
陣内 弘文 様 (母 智子 様)

平野ユリ子 様 (夫 宣善 様)
石橋 英紀 様 (母 幸栄 様)
峯 ヒサエ 様 (夫 一文 様)

ふれあい、絆、安全安心の事業を展開しました

(校区社協、主催事業、共催事業のご紹介)

独居高齢者招待バスハイク

心地良い秋風に
ふかれて



年末年始地域福祉交流事業

防災講座

いつ起こるか分からない災害に備えて



年末年始地域福祉交流事業

きらめきフェスタ
障がいある人と手をとって



独居高齢者の方への年賀状
中学生の皆さんが心こめて書きました



年末年始地域福祉交流事業

中学生サンタがやってくる
子どもたちが待っているよ



年末年始地域福祉交流事業

募金活動も頑張りました
赤い羽根募金



ひなまつり会食会

ボランティアの皆さんの
手作り料理で



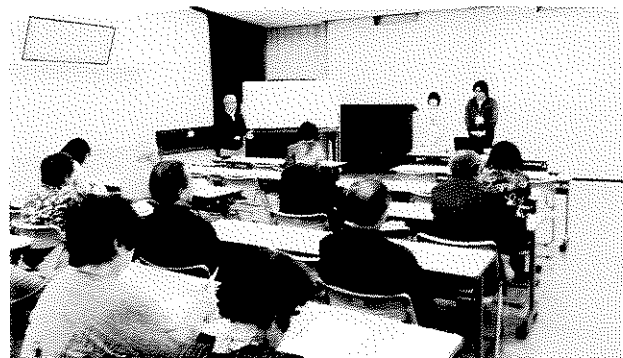
救急救命講座

まだ救える命があります



年末年始地域福祉交流事業

校区社協勉強会 スキルアップのために



「鍋島まちづくり協議会」の運営にご理解とご協力を

鍋島校区では、住民主体の地域コミュニティのまちづくりを目指し「夢プラン」として“歴史と未来がふれあうまち鍋島”を掲げた「鍋島まちづくり協議会」での運営がスタートしました。

当協議会は3月1日に発足、6月23日に第1回平成28年度総会を開催することが出来ました。

設立趣旨は、今日の社会における人口減少・少子高齢化や住民意識の変化に伴う参加・協働意識の欠如と希薄化、地域課題の多様化・複雑化により地域力が衰退している現状が顕著となっている。また、佐賀市ではまちづくりに関わるすべての人々との対話を通して参加と協働によるまちづくりを進めるために、「佐賀市まちづくり自治基本条例」が制定されております。

当校区でも、社会情勢を否定することは出来ず、校区、地区行事等に対する住民の理解と協力体制の確保が困難となっているのも事実であります。

そのためには、住民相互の交流と参加による親睦を図り、皆でまちづくりを進めることが不可欠であるとの位置づけにより、豊かで住みよい地域づくりに取り組むことを目的として新しいコミュニティのまちづくりに取り組んだところであります。

組織体制の中核は、これまでの既存の各種組織団体であります。組織内の連携と負担軽減を図るために、組織編成では部会制を取り入れ活動の主体となる部会は

- 自治・安全部会 ○ 福祉・健康部会
- 子育て・見守り部会 ○ 歴史・文化部会

の四部門部会となっております。

各部会には、既存の組織団体から委員を指定選任するなど、組織内の緊密な連携と協力がなされる体制となっております。

鍋島まちづくり協議会は、発足スタートしたばかりの運営状態です。校区の皆様のご理解とご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

(鍋島まちづくり協議会長 犬尾貞秋)



平成28年度 校区社協事業計画

期日	事業名	場所
4/3	さがさくらマラソン支援ボランティア 赤い羽根のつどい ボランティア鍋島総会	佐賀水ものがたり館 アバンセ 鍋島公民館
5/20	校区社協総会	鍋島公民館
6/23	町づくり協議会総会	鍋島公民館
7/10 14	参議院選会場ボランティア ボランティア鍋島研修会	鍋島中学校 玄海町
8/上旬	校区社協だより発行	校区全世帯
9/8	敬老の日プレゼントクッキー作り	鍋島公民館
10/上旬 上旬 下旬	赤い羽根街頭募金 市社協地区会長会視察研修 赤い羽根企業募金	市内各所 追而 校区内企業
11/上旬 上旬 中旬 下旬	独居高齢者招待バスハイク 防災講座 きらめきフェスタ支援ボランティア 地域交流餅つき大会支援	追而 鍋島公民館 鍋島中学校 鍋島小学校
12/中旬 23 下旬 下旬	鍋中の皆さんによる独居者への年賀状作り 中学生サンタがやってくる支援 NHK歳末助け合い募金受付ボランティア 医学部学生ボランティアとの交流会	鍋島中学校 校区内 NHK佐賀 鍋島公民館
1/上旬 上旬	ふれあいロードレース駅伝大会支援 救急救命講座	校区内 鍋島公民館
2/中旬	佐賀市社会福祉大会	佐賀市文化会館
3/上旬 中旬	独居高齢者招待ひなまつり会食会 校区社協勉強会	鍋島公民館 鍋島公民館

お知らせとお願い

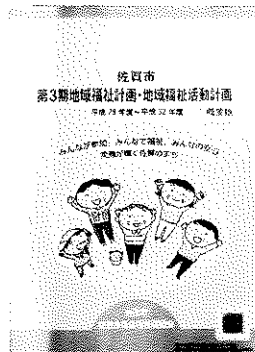
福祉協力員制度が発足します 福祉協力員作りにご協力下さい

今年度より、佐賀市第3期福祉計画・福祉活動計画が策定されました。その主旨は、増々進む地域のつながりの希薄化と、高齢化を見据え、地域で見守る体制作りの強化にあります。

具体的な重点目標として①福祉協力員の設置推進②気軽に集える居場所（サロン）づくりです。

①の福祉協力員は、概ね30世帯～50世帯に1名を目安に配置することになります。鍋島校区の場合、90名前後の福祉協力員作りが必要となりますが、既に同様の活動を行っているボランティア鍋島を母体に充実させていきたいと思っております。

具体的な福祉協力員になっていただく方の募集方法、時期等については、追而、自治会長会や他関連団体とも協議して決めたいと思っております。是非福祉協力員に応募下さる様お願い致します。



自転車子ども見守りボランティア発足 見守りボランティアになりませんか

ボランティア鍋島では「子ども見守りパトロール中」のステッカーを付けた自転車による子ども見守り活動を始めました。

見守り時間等は特定せず、買物や用事の折ステッカーを付けた自転車を利用してもらい、子どもたちへの声かけ、いたずら等の犯罪や抑制効果を期待するものです。普段、自転車に乗られる皆さん是非ボランティアにご協力下さい。



子ども安全パトロール中